

自己評価報告書

平成23年4月28日現在

機関番号：62501

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20520604

研究課題名（和文） 室町期禁裏・室町殿統合システムの基礎的研究

研究課題名（英文） The fundamental study of the unification system KINRI and MUROMACHIDONO in the MUROMACHI period

研究代表者 井原今朝男（IHARA KESAO）

国立歴史民俗博物館 研究部 教授

研究者番号：20520604

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学 日本史

キーワード：中世史 社会経済史

1. 研究計画の概要

- (1) 室町期における禁裏と室町殿の統合システムを解明し、公家と武家共同の官僚機構論を構築する。

本研究においては、蔵人で弁官をつとめて権中納言になった甘露寺親長の古記録・古文書を中核にして、後土御門天皇・後花園院の禁裏と室町殿義政と将軍家義尚の幕府とが、どのように合議をして共同意志を決定し、それを伝奏・蔵人弁官・官務・局務という公家官僚機構と管領・政所・奉行人という武家官僚機構とがどのように共同執政を具体的におこなっていたかを解明する。

- (2) 室町戦国期の禁裏関係史料の未刊行史料の発掘とそこにおける公家・武家による共同執行事務の実態を解明する。歴博であらたに入手した船橋清原家史料の調査をすすめ、大宮時元の新出史料を紹介する。
- (3) 公家と武家による共同の経済基盤と財政的共同執行の実態を解明する。公事執行における武家からの下行システムを具体化し、公方御倉と御料所と守護出銭の相互関係を解明する

2. 研究の進捗状況

- (1) 甘露寺親長の伝奏記について歴博所蔵の書写本と京都大学所蔵の自筆本の対比研究を終えた。京都大学所蔵勸修寺家史料と歴博所蔵田中本・高松宮本から儀式伝奏関係史料を抽出した。その結果、儀式伝奏が禁裏の職事弁官と室町殿の武家奉行人を介して行政

執行しているシステムを解明し、論文として公開した。

(2) 未刊行史料の清原船橋家旧蔵史料が、後柏原天皇の即位式財政帳簿で大宮時元自筆の新出史料であることをつきとめた。その翻刻作業をほぼ終えて、原本校正に入っている。

(3) 禁裏と室町殿の共同執行については、京都市中検断権、天皇の遷幸供奉料の国役賦課、禁裏による守護代への命令権などについて歴史事象をあきらかにした。しかし、禁裏と幕府の共同財政帳簿である惣用下行帳の存在を発見したのみで、分析にまでは至っていない。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。

禁裏と幕府の共同の行政執行の手続き・官僚組織については、(1)(3)ともに、論文として成果を公開しており、禁裏の財政帳簿である惣用下行帳の概要についても、その存在については報告しており、大きな反響を呼んだ。室町期における禁裏と幕府との共同行政執行システムについては、武家伝奏と儀式伝奏の下に公家奉行人（職事弁官）と武家奉行人（儀式奉行人）がおかれ、その命令が官務・局務と守護代・公方御倉に伝達される体制であったことがあきらかになった。禁裏と幕府の共同財政運営についても武家伝奏を介して天皇・室町殿の合議によって、儀式伝奏—伝奏切府—惣用奉行—幕府奉行人連署—公方御倉—下行支出の執行となっていたことをあきらかにした。

したがって、おおむね順調と評価できる。

4. 今後の研究の推進方策

残るは、惣用下行帳の分析論文であるが、これは別のプロジェクトとして再構築しなければならないと考えている。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計7件)

- ① 井原今朝男 「鎌倉期の諏訪神社関係史料にみる神道と仏道—中世御記文の時代的特質について」『国立歴史民俗博物館研究報告』139 p157-185 208/3 査読有
- ② 井原今朝男 「小笠原遠光・長清一門による将軍家菩提供養」『金沢文庫研究』320 p24-34 2008/3 査読有
- ③ 井原今朝男 「中世天皇の即位式準備と財政帳簿」『歴博』150 p2-4 2008/9 査読無
- ④ 井原今朝男 「甘露寺親長の儀式伝奏と別記『伝奏記』の作成」吉岡眞之・小川剛生編『禁裏本と古典学』塙書房 pp213-274 2009/3 査読無
- ⑤ 井原今朝男 「公家史料にみる外記の宣旨発給と吉良満義の信州発向」『信濃』61-12 pp1-18 2009/12 査読有
- ⑥ 井原今朝男 「中世における触穢と精進法をめぐる天皇と民衆知」『国立歴史民俗博物館研究報告』157 pp213-247 2009/3 査読有
- ⑦ 井原今朝男 「日本中世における城と領主権力の二面性」小島道裕編『武士と騎士—日欧比較中近世史の研究—』思文閣出版 pp201-224 2010/3 査読無

[学会発表] (計1件)

- ① 井原今朝男 「日記にあらざる古記録—日記抜書・古文書・書簡類を集めた申沙汰記—」2010・7・17 国際日本文化研究センター・共同研究「日記の総合的研究」研究会報告

[図書] (計3件)

- ① 井原今朝男 『中世の借金事情』(吉川弘文館2009) p1-226

- ② 井原今朝男 『知る楽 歴史は眠らないニッポン借金事情』日本放送出版協会 2009 p1-94

- ③ 井原今朝男 『史実中世仏教第I巻』(興山社2011) p1-397

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況 (計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]

NHK教育TV番組放映権

2009/10/6 「借金社会の潤滑油」

2009/10/13 「借金も財産のうち」

2009/10/20 「借り手保護から貸し手保護の時代へ」

2009/10/27 「貸し手優位の時代」